

# 労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！ 第8回支部代表者会議開催される

## 組織破壊攻撃を粉碎し ジェット燃料増送阻止に決起しよう！

一〇月一日一三時より動労千葉第八回支部代表者会議が開催された。会議の討議事項は、①、組織破壊攻撃粉碎・組織体制整備確立を中心とする闘い。②、ジェット増送阻止・10・21国際反戦闘争を中心とする取組み。③、基本協約の締結。④、総選挙闘争の四項目を中心とした当面する取組みに論議は集中し、③基本協約の締結については執行部一任、①②④項については執行部提案通り、満場一致確認された。同時に最近の動労「本部」反動集団の動向に示されるように動労「本部」は本来の労働運動の課題をすべて放棄し労働組合とはおよそ無縁な存在になり下がったことを確認し更に動労千葉組織破壊策動を粉碎し、動労大改革、八〇年代労働運動の戦闘的再生をきり開く闘いを動労千葉が最先頭でにない切ることを全体で意志一致した。

### 動労「本部」反動集団の動向

熊本全国大会以降、「本部」反動集団のやってきたことは、  
第一に八鉄片肺欠陥執行部は労働運動＝大衆運動としての路線提起・運動提起は何一つやらず、ただ千葉破壊のみにほん走しているのが実態である。

千葉破壊の為に、国家権力・当局に泣訴し、労働者の階級的利益を売り渡してもかまわないとする右翼的反動分子ぶりを発揮しているのだ。その右翼反動分子への情落の集大成が「動労闘争第一号」である。

本来「申一」は、大会決定の名をもって組合員の利益を確保するための懸案要求事項を申し入れるのがこの組合でもやるべきことなのだ。それがどうだ動労「本部」は、「申一」をもって国鉄当局にむかって「動労千葉への弾圧を強化しろ」「処分せよ」「職場管理体制を強化しろ」等と鉄労顔まけの第二マル生実施を要求するありさまなのだ。

第二にやったことは、津田沼駅近くに動労千葉破壊の最先事務所を設置したことである。

「動労・千葉事務所」とは名ばかりのこの事務所は、入口は鉄製のドアで防備し、常時二、三階から附近の住民を監視し、出入りの反動分子は集団で徒党をくみ、「軍事行動」さながらの行動をしているのである。まさに労働組合事務所とは無縁な「右翼暴力団詰所」といった方が妥当である。

以上こうした二つのやりかた自体、反動的、反階級的なことであり、労働組合として決して許せないものである。結局でもしない「千葉再建」に血道をあげ、自称「動労型」労働運動の反動性、破綻のとりつくりをせんとするのがこの間の「本部」反動集団の狙いであり、行きつく先は東洋大改革分子島田誠を使った再建支部デッチ上げ策動、国家権力・当局と結託した千葉破壊策動で

あることはあきらかである。

したがってわれわれは、更に島田らの裏切り密通分子を糾弾し、権力・当局の動きに対する階級的警戒心を強化し、組織破壊攻撃粉碎の体制を強化しよう。

△当面する取組み決定▽三五万人体制合理化反対と結合しジェット増送阻止闘争に決起しよう！

■ジェット増送阻止・10・21国際反戦闘争を中心とする取組み。

国鉄当局は、ジェット増送計画を、一〇月総選挙明け提案、十一月増送開始を企図している。したがって新たな三里塚・ジェット闘争構築として動労千葉の基本方針は、  
①、一〇月中旬を第一の山場に設定し10・21国際反戦闘争と結合し、拠点ストライキを配置して闘う。

②、目標一国鉄三五万人体制合理化粉碎と結合した反合・ジェット闘争として闘う。

### 闘いの意義

●動労千葉の正義性と真価を問う闘い。  
●革マル反動集団に私物化され、労働組合らしい運動を全く放棄し、国鉄当局の尖兵を積極的に果している動労「本部」と路線的・運動的に結着をつける第一波の闘い。

●二期工事阻止をめざす三里塚農民との労農連帯を一步前進させる闘いであり、右翼化する日本労働運動の戦闘的再生の突破口をきり開く闘い。

●国鉄「再建」論議に埋没している、国労・動労中央指導部の反合闘争放棄という現実の逆流に抗する国鉄反合実力闘争の第一波の闘い。

以上を骨子とした基本方針を確認し、早急に動労千葉臨時委員会を開催し決定することとした。